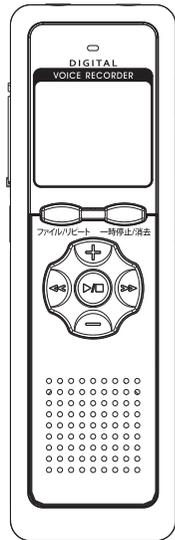


Ri-JAPAN

デジタルボイスレコーダー
型式: RVR-050

取扱説明書 (保証書付)



このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために、ご使用前にこの説明書をお読み下さい。
また、製品保証書は必ず保管して下さい。保証書を紛失されますと、保証期間内であっても製品保証の対象外となります。

アールアイジャパン株式会社
お客様サポートセンター ☎0120-688-843

目次

| | |
|-------------------------|--------|
| 1. 安全にお使いいただく為に | 3 ページ |
| 2. はじめに | 4 ページ |
| 同梱品一覧・本体各部の名称・画面表示の説明 | |
| 3. 基本的な使い方 | 5 ページ |
| 電源のON/OFF | |
| 充電の方法 | |
| ホールドスイッチの使い方 | |
| 音量の調節 | |
| 時計設定の方法 | |
| 4. 録音する | 6 ページ |
| 5. 録音した音声を再生する | 7 ページ |
| 再生 | |
| ・一時停止・早送り/巻き戻し・スキップ | |
| ・録音日時表示 | |
| リピート再生 | |
| ・リピートワン・リピートオール・A-Bリピート | |
| 6. 録音した音声を編集する | 8 ページ |
| 音声部分を分割する | |
| 音声部分を部分消去する | |
| 7. 録音した音声を消去する | 8 ページ |
| ファイルの消去 | |
| フォルダ内のすべてのファイルを消去 | |
| 8. FMラジオの操作 | 9 ページ |
| FMラジオを聴く | |
| 周波数を登録する | |
| FMラジオの録音 | |
| 9. 外部機器との接続 | 10 ページ |
| 外部マイクとの接続 (マイク別売り) | |
| 他の機器との接続 | |
| ・録音した内容を外部機器に録音する | |
| ・外部機器からの出力音声を録音する | |
| ・録音した音声を外部機器に出力する | |
| 10. パソコンとの接続 | 10 ページ |
| パソコンと接続する | |
| パソコンから取り外す | |
| 11. フォーマット (初期化) | 11 ページ |
| 12. トラブルシューティング | 12 ページ |
| 製品仕様 | 13 ページ |
| 保証書 | 14 ページ |

1. 安全にお使いいただく為に (必ずお読みください)

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項を必ずお読みください。

| | |
|--|--------------------------------------------------------------------------------|
| | 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。 |
| | 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。 |

| | |
|--|------------------------------------------------------------------------------|
| | 記号は記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。 |
| | ●記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いて下さい)が描かれています。 |

| 警告 | |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------|
| | 分解禁止 ●本機を分解、改造、修理をしない 火災・感電・けがの原因となります。 |
| | 禁止 ●本機を布で覆ったり、風通しの悪い狭い場所に設置した状態で使用しない。 内部に熱がこもり変形したり、火災や故障の原因となります。 |
| | 禁止 ●開口部やすき間から異物を入れない。 火災・感電の原因となることがあります。 |
| | 強制 ●自動車等の運転中、歩行中に使用しない。また、自動車の中に放置しない。 けがの原因、また、本機の変形・故障の原因となります。 |
| | 水ぬれ禁止 ●水につけたり、水をかけたりしない。 故障・感電の恐れがあります。 |
| | 強制 ●雷が鳴り出したら本体に触れない。 感電やけがの恐れがあります |

| 注意 | |
|-----------|-----------------------------------------------------------------|
| | 禁止 ●子どもだけで使用させたり、乳幼児の手の届くところに放置しない。 けがや感電の原因となります。 |
| | ●高温・多湿になる所や、ほこりの多い所では使用しない。 |

○イヤホンでお聞きになるときの注意事項

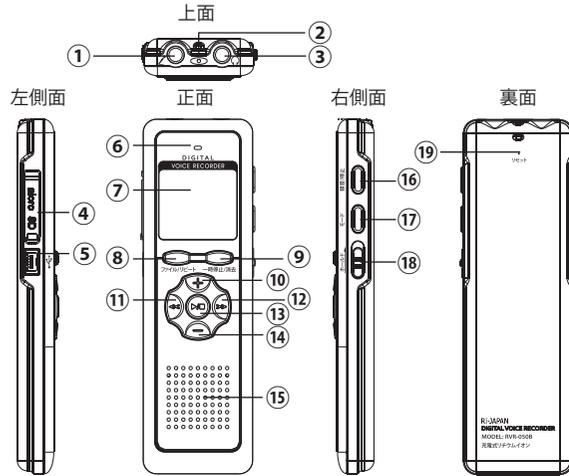
- ・自動車・バイク・自転車などの運転中はご使用にならないでください。交通事故の原因となる危険性があります。
- ・急に音量を上げたりしないでください。聴覚障害を引き起こす可能性があります。ご使用の際は、事前に音量を最小にしてから徐々に調節してください。

2. はじめに

<同梱品一覧>

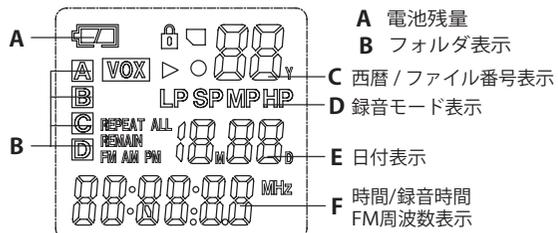
- 本体×1 ● ステレオイヤホン×1 ● USBケーブル×1
- ラインケーブル×1 ● 説明書（保証書）×1

<本体各部の名称>



- | | | |
|---------------|-------------|-----------|
| ① マイク端子 | ⑧ ファイル/リピート | ⑮ 内蔵スピーカー |
| ② 内蔵マイク | ⑨ 一時停止/消去 | ⑯ 再生/停止 |
| ③ イヤホン端子 | ⑩ ボリューム (大) | ⑰ モード |
| ④ microSDスロット | ⑪ 巻き戻し・戻る | ⑱ ホールド |
| ⑤ USBポート | ⑫ 早送り・進む | ⑲ リセットボタン |
| ⑥ 録音インジゲーター | ⑬ 録音/停止 | |
| ⑦ 液晶画面 | ⑭ ボリューム (小) | |

<画面表示の説明>



- | | |
|----------------|-------------------------|
| 🔒 ホールド中表示 | VOX VOX機能作動中表示 |
| 📄 microSD挿入中表示 | REPEAT リピートワン再生中表示 |
| ▶ 再生中表示 | REPEAT ALL リピートオール再生中表示 |
| ○ 録音中表示 | REMAIN 録音残時間表示中 |

3. 基本的な使い方

<電源のON/OFF>

(電源ON)

- ▷/□ ボタンを“長押し”すると電源が入り年月日・時間表示の画面が表示されます。

(次に、モードボタンを押すと「Init」と表示された後、ボイスレコーダーモードに切り替わります。)

(電源OFF)

- 年月日・時間表示の画面では、約1分間無操作の状態が続くと自動的に電源OFFとなります。

- レコーダーモード・FMラジオモードでは、▷/□ ボタンを約2秒“長押し”すると、画面が年月日・時間表示に切り替わり、約1分後に自動的に電源OFFとなります。

(年月日・時間表示に変わった時点で、再度、▷/□ ボタンを約2秒“長押し”すると、電源OFFとなります。)

<充電の方法>

- 本機は、付属のUSBケーブルを使い充電を行いません。

- 1) 付属のUSBケーブルを使い、本体左側面にあるUSBポートとパソコンのUSBポートとを接続すると、充電が開始されます

(本体の電源をONにしてパソコンと接続すると、パソコンの電源はOFFでも充電が可能です)

※充電が完了すると電池アイコンが消灯します。

<ホールドスイッチの使い方>

- 本体右側面のホールドスイッチを→側にスライドさせると、すべてのボタン操作が無効となります。

(電源ONのみ有効となります)

- 解除するには、ホールドスイッチを下側にスライドさせます。

※ホールドの設定になっている時、ボタン操作をすると画面下に「Hold」と表示されます。

<音量の調節>

本体中央のボタンを使って、音量調整してください。+(音量大)、-(音量小)となります。

<時計設定の方法>

- 1) 電源の入った状態でモードボタンを約2秒“長押し”します。
- 2) 録音モード設定画面に切り替わり、▷/□ ボタンを押すと、マイク感度設定⇒VOX設定⇒microSD設定⇒フォーマット確認画面⇒西暦設定画面の順に切り替わります。

(西暦の設定)

- 3) 西暦(下2桁)が点滅している状態で<<.>>ボタンを押して、現在の西暦に合わせてください。▷/□ ボタンを押すと決定し、月の設定に切り替わります。

(月の設定)

- 4) 月が点滅している状態で<<.>>ボタンを押して、現在の月に合わせます。▷/□ ボタンを押すと決定し、日の設定に切り替わります。

(日の設定)

- 5) 日が点滅している状態で<<.>>ボタンを押して、現在の日に合わせます。▷/□ ボタンを押すと決定し、時の設定に切り替わります。

(時の設定)

- 6) 時が点滅している状態で<<.>>ボタンを押して、現在の時に合わせます。▷/□ ボタンを押すと決定し、分の設定に切り替わります。

(分の設定)

- 7) 分が点滅している状態で<<.>>ボタンを押して、現在の分に合わせます。モードボタンを押すと、設定完了となります。

- 8) 設定した年月日、時間が正しいかご確認ください。

※年月日・時間の表示画面でファイルボタンを押すと、時計の24時間・12時間表示のいずれかを選択できます。

4. 録音する

- 1) 電源を入れ、時間表示の画面でモードボタンを押すと、ボイスレコーダーモードに切り替わります。

- 2) 録音モード・マイク感度・VOX機能・microSDの設定を行いません。

(録音モードの設定)

- 3) モードボタンを約2秒“長押し”⇒録音モード設定画面に切り替わりますので<<.>>ボタンで選択⇒▷/□ ボタンで決定。

HP: 最高音質 (最大録音時間…約33時間)

MP: 高音質 (最大録音時間…約46時間)

SP: 標準音質 (最大録音時間…約68時間)

LP: 長時間録音 (最大録音時間…約136時間)

(マイク感度の設定)

- 4) 次に、マイク感度設定画面が表示されます。<<.>>ボタンで「HI」「LO」を選択⇒▷/□ ボタンで決定。

HI: 感度高 LO: 感度低

(VOX機能の設定)

- 5) 次に、VOX機能設定画面が表示されます。<<.>>ボタンで「ON」「OFF」を選択⇒▷/□ ボタンで決定。

※VOX機能: 音声の有無を自動感知し、音声がある時のみ録音する機能。VOX機能をONにした際の録音の際、音声がない時は録音を一時停止し、音声がある時に録音を自動的に再開します。

※VOX機能は、集音される音質・声質また音量によっては、正常に録音されない場合があります。録り逃しを避ける為にも事前にテストを行ってください。

(microSD設定)

- 6) 次に、microSD設定画面が表示されます。<<.>>ボタンで「ON」「OFF」を選択⇒▷/□ ボタンで決定。

※保存先にmicroSDを指定する場合は「ON」、内蔵メモリの場合は「OFF」を選択してください。

※microSDを挿入していない場合、「ON」にしても、音声は内蔵メモリに保存されます。

7) モードボタンを押して、レコーダーモードに戻ります。

(録音内容の保存先ファイルを設定)

- 8) ファイルボタンを押し、録音内容を保存したいファイルをA・B・C・Dから選択します。
- 9) 上記3)~8)の設定をした後、録音/停止を押すと録音がスタートします。録音中は、RECランプが点灯します。
- 10) 録音を一時停止するには、一時停止/消去ボタンを押してください。一時停止中は画面に「PAUSE」と表示されます。再開するには、再度、一時停止/消去ボタンを押してください。
- 11) 録音中に **▷/□** ボタンを押すと録音可能時間が表示されます。画面に「REMAIN」アイコンが表示され、残りの録音可能時間が確認できます。
- 12) 録音を停止するには、録音/停止ボタンを押してください。録音が停止し、RECランプが消灯します。この時、画面に「SAVING」と表示されますので、電源を切ったり、microSDを抜いたりしないでください。

5. 録音した音声を再生する

<再生>

- 1) 電源を入れ、時間表示の画面でモードボタンを押し、ボイスレコーダーモードに切り替えます。
- 2) ファイルボタンを押し、再生したい音声ファイルの入ったフォルダを選択します。 **⏪** → **⏩** → **⏴** → **⏵** の順に切り替わります。
- 3) フォルダを選択した後、<<・>>ボタンで再生したい音声ファイルを選択し、**▷/□** ボタンを押すと再生が始まります。
- 4) 再生中に **▷/□** ボタンを押すと、再生が停止します。

○一時停止

再生中に一時停止/消去ボタンを押すと、再生が一時停止し、画面に「PAUSE」と表示されます。再開するには、再度一時停止/消去ボタンを押してください。

○早送り/巻き戻し

(早送り)

再生中に>>ボタンを“長押し”すると、早送りになります。>>ボタンを離すと通常再生になります。

(巻き戻し)

再生中に<<ボタンを“長押し”すると、巻き戻しになります。<<ボタンを離すと通常再生になります。

○スキップ

再生中に、<<・>>ボタンを押すと、(<<⇒一つ前のファイルへ、>>⇒一つ次のファイルへ)スキップし、再生されます。

○録音日時表示

再生中に、録音/停止ボタンを押すと、録音したときの日時が確認できます。5秒ほどで画面表示は元に戻ります。

※この機能を活用する際は、録音前に日付設定を正確に行なってください。

<リピート再生>

○リピートワン (1ファイルのみリピート再生)

再生中に、ファイル/リピートボタンを“長押し”すると「REPEAT」アイコンが表示され、再生中のファイルが繰り返し再生されます。解除するには、リピート再生中に消去/リピートボタン“長押し”を二度繰り返してください。

○リピートオール (1フォルダ内すべてのファイルを繰り返し再生)

リピートワン中に、ファイル/リピートボタンを“長押し”すると「REPEAT ALL」アイコンが表示され、再生中のフォルダ内すべてのファイルを繰り返し再生します。解除するには、再生中にファイル/リピートボタンを一度“長押し”します。

○A-Bリピート

再生中に、A-Bリピートを開始させたい部分でファイル/リピートボタンを押すすると、画面に「A-b(bが点滅)」が表示されます。次に、終了させたい部分でファイル/リピートボタンを押します。「A-b」が表示され、設定した区間が繰り返し再生されます。解除するには再度、ファイル/リピートボタンを押します。

6. 録音した音声を編集する

(録音時間が長いファイルを編集する際は、処理に時間がかかります。)

<録音音声を分割する>

- 1) 分割したいファイルを選択します。
- 2) ボリュームボタン(-)を約2秒間“長押し”すると、画面に「Edt」と表示されます。
- 3) **▷/□** ボタンを押し、ファイルを再生します。分割したい時点で、ファイル/リピートボタンを押します。
- 4) 画面に「SPt」と表示され、再生が一時停止となります。次にファイル/リピートボタンを押すと分割処理が開始されます。
- 5) 画面に、「ok」と表示されたら分割完了です。
- 6) モードボタンを押すと、編集モードが終了します。

<録音音声を部分消去する>

- 1) 部分消去したいファイルを選択します。
- 2) ボリュームボタン(-)を約2秒間“長押し”すると、画面に「Edt」と表示されます。
- 3) **▷/□** ボタンを押し、ファイルを再生します。部分消去を開始させたい時点で、一時停止/消去ボタンを押します。
- 4) 画面に「Ast」と表示され、再生が続きます。次に、部分消去を終了させたい時点で、一時停止/消去ボタンを押します。
- 5) 画面に「bed」と表示されますので、一時停止/消去ボタンを押すと、指定部分の消去処理が開始されます。
- 6) 数秒後、画面に「ok」と表示されたら部分消去完了です。
- 7) モードボタンを押すと、編集モードが終了します。

7. 録音した音声を消去する

<ファイルの消去>

- 1) ボイスレコーダーモードで、ファイルボタンを押し、消去したいファイルの入ったフォルダを選択します。

2) <<・>>ボタンで消去したいファイルを選択し、一時停止/消去ボタンを押すと「dEL」と表示され、そのファイルが再生されます。

3) 「dEL」表示中に、再度、一時停止/消去ボタンを押すとファイルは消去されます。

<フォルダ内の全てのファイルを消去>

1) ボイスレコーダーモードで、ファイルボタンを押し、消去したいフォルダを選択します。

2) 一時停止/消去ボタンを“長押し”すると「dELALL」が表示されます。

3) <<・>>ボタンを押し「YES」を選択し、一時停止/消去ボタンを押すとフォルダ内の全てのファイルが消去されます。

8. FMラジオの操作

※イヤホンがアンテナの役割となりますので、FM操作の際は必ずイヤホンを接続してください。コードをできるだけ伸ばすことで受信感度が上がります。

<FMラジオを聴く>

1) ボイスレコーダーモードで、モードボタンを押すと「rAdio」と表示された後、FM周波数が表示されます。

(手動;周波数設定)

2) <<・>>ボタンを短く押し、お住まいの地域の周波数に設定します。(ボタンを押す際、周波数表示が変わったのを確認してから押してください)

(自動;周波数設定)

3) <<・>>ボタンを“長押し”すると、自動的に受信可能な周波数にセットされます。

<周波数を登録する>

(手動設定)

1) 登録したい周波数にセットします。

2) ファイル/リピートボタンを押すと、登録されます。

(自動設定)

1) ファイル/リピートボタンを“長押し”します。

2) 自動的に、受信可能な周波数をすべて登録します。

(登録した周波数の選択と解除)

○登録した周波数は、**▷/□** ボタンを押すと、登録番号順に切り替わり選択することができます。

○登録を解除する際は、解除したい周波数を選択し、一時停止/消去ボタンを押すと、登録が解除されます。

<FMラジオの録音>

1) 録音したい周波数にセットし、録音/停止ボタンを押すと、録音が始まります。

2) 録音/停止ボタンを押すと、録音が終了します。

※録音データは自動的に、フォルダ「D」に保存されます。

9. 外部機器との接続

<外部マイクとの接続>

外部マイク(別売り)を本体上部のマイク端子に接続し録音します。録音の手順は、4. 録音すると同様となります。

<他の機器との接続>

付属のラインケーブルを使用しますと、外部機器から本機への録音・本機から外部機器への録音、また外部機器への音声出力が可能になります。

○録音した内容を外部機器に録音する

ラインケーブルをテープレコーダー等の録音可能な機器の音声入力端子と本機のイヤホン端子に接続します。

※外部機器側=録音 本機側=再生

○外部機器からの出力音声を録音する

ラインケーブルをテレビやラジオ、ミュージックプレイヤーの音声出力端子と本機のマイク端子に接続します。

※外部機器側=再生 本機側=録音

○録音した音声を外部機器に出力する

ラインケーブルを外部機器の音声入力端子と本機のヘッドホン端子に接続する。

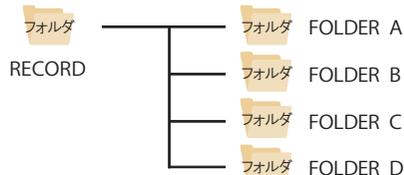
※外部機器側入力=外部入力(AUX) 本機側=再生

10. パソコンとの接続

<パソコンと接続する>

パソコンと接続することで、録音した音声ファイルをパソコンに保存することができます。

- 1) 本機とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。
- 2) 接続すると本機画面に「USB」と表示され、パソコン側で【リムーバブルディスク】として自動認識されます。
- 3) マイコンピューターに表示された【リムーバブルディスク】を開きます。階層は下記のとおりです。



- 4) 【FOLDER A~D】を開き、パソコンに保存したいファイルまたはフォルダをパソコンにコピーもしくは移動してください。

※上記フォルダを削除しても、ボイスレコーダーモードで自動的にフォルダが作成されます。ただし、削除した音声ファイルは復元できませんのでご注意ください。

※パソコンで【FOLDER A~D】の中にフォルダを作成しても、本機では認識しません。

<パソコンから取り外す>

本機をパソコンから取り外す際、【ハードウェアの安全な取り外し】の手順にて取り外してください。

- 1) パソコンのデスクトップ画面の右下にある【ハードウェアの安全な取り外し】をクリックしてください。
- 2) 【USB大容量記憶装置デバイス-ドライブを停止します】と表示されますので、表示部分をクリックします。
- 3) 【ハードウェアの取り外し】のメッセージが表示されたら、USB接続を取り外してください。

※間違った手順で取り外しを行なった場合、データ損失や機器故障の原因となることもあります。

※間違った手順で取り外したことによる、本機・パソコンのトラブル及びデータの損失につきましては一切保証できませんのでご了承ください。

※本機とパソコンが通信中の際は絶対に接続を取り外さないでください。データが失われる可能性があります。

11. フォーマット(初期化)

○本体に保存された音声ファイル、ラジオ設定がすべて削除されます。

- 1) モードボタンを“長押し”し、録音モード選択画面を立ち上げます。
- 2) microSD設定を「ON」にしている場合は「OFF」に切り替えてください。
- 2) **▷/□** ボタンで画面を切り替え「-For-」と表示されたら、フォーマットモードとなります。
- 3) フォーマットするには「YES」を<◀>ボタンで選択し、**▷/□** ボタンを押してください。
- 4) 全ての録音ファイルの消去が完了すると、画面に「-Ok-」と表示されますので、モードボタンを押し、終了してください。
- 5) キャンセルするにはフォーマットモードで「No」を選択し、ボタンを押すか、モードボタンを押してキャンセルしてください。

12. トラブルシューティング

Q.電源が入らない

A. 充電残量が少ないか完全になくなっている可能性があります。
⇒充電してください。

A. ホールドになっている。
⇒ホールドスイッチをスライドさせ、ホールド状態を解除してください。

Q.音声がイヤホンから聞こえない

A. イヤホンプラグの差込みが不完全。
⇒イヤホン端子にしっかりと差し込んでください。

A. イヤホンプラグをマイク端子に差し込んでいる。
⇒正しくイヤホン端子に差し込んでください。

A. 音量が小さい。
⇒音量ボタンを操作し、音量を大きくしてください。

Q.動作が不安定

A. 動作エラーの可能性がります。
⇒本体裏側上部のリセットボタンを押して、再度、本機を起動してください。

Q.パソコンが本機を認識しない/データの転送ができない

A. USBが正しく接続されていない可能性があります。
⇒USB端子の接続を確認してください。

A. USBハブ等を経由して接続している。
⇒直接パソコンに接続してください。

A. お使いのパソコンのUSB端子が正常に動作していない可能性があります。
⇒お使いのパソコンメーカー様へお問い合わせください。

| 製品仕様 | |
|------------|-----------------------------------------------------|
| 製品型番 | RVR-050 |
| 録音形式 | ADPCM |
| 録音ファイル形式 | WAV (音声 FM) |
| 対応ビットレート | LP:32Kdps SP:64Kbps MP:96Kdps HP:128Kbps |
| 内蔵メモリ | 2GB |
| 対応メディア | microSD / microSDHC (16GB まで対応) |
| 出力端子 | イヤホン端子 Ø3.5mm |
| 入力端子 | 外部マイク端子 Ø3.5mm |
| USB 端子 | mini-B タイプ (4 ピン) |
| FM チューナー | 76 ~ 90MHz |
| 最大出力 | スピーカー: 80mW イヤホン: 5mW |
| 録音再生周波数 | 300Hz ~ 3,000Hz |
| 電源 | 3.7V 内蔵型リチウムイオンバッテリー (USB 充電) |
| 最大録音時間 | LP: 約 136 時間 SP: 約 68 時間 MP: 約 46 時間 HP: 約 33 時間 |
| 連続録音電池持続時間 | 約 7 時間 (HP モード録音時) |
| 外形寸法 | H:102×W33×D11 (mm) |
| 重量 (本体のみ) | 約 42g |
| その他機能 | VOX 機能 |
| | 内蔵スピーカー / 内蔵マイク |
| | マイク感度設定機能 |
| | フォルダ数 4 (1 フォルダにつき 99 ファイルまで) 合計 396 ファイル保存可能 |
| | FM 録音機能 |
| | 時計機能 |
| 付属品 | リピートワン / リピートオール / A-B リピート |
| | ステレオイヤホン |
| | ラインケーブル |
| | USB ケーブル |
| | 取扱説明書 (保証書付) |

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
 下記の保証書に必要事項をご記入の上、保管して下さい。

必要事項に記入がない場合は、保証の対象外となります。

| 保証書 | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 製品名・型式 | IC ボイスレコーダー / RVR-050 |
| 保証期間 | お買上げより一年間 / お買上げ日・20 年 月 日 |
| お客様 | お名前 |
| | ご住所 |
| | 電話番号 |
| お買上げ店名 | 印 |
| 保証規定 本保証書は、以下に記載される保証内容に基づき、保証期間内に生じた故障・破損に対し、無償対応するものです。保証期間内であっても以下の場合には保証の対象外とさせていただきます。 1. 取扱説明書に反した不適切な取扱、不当な修理や改造による故障および損傷 2. お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷 3. 火災・地震・水害・落雷、その他天災地変による故障および損傷 4. 接続している他の機器に起因する故障および損傷 5. 業務用での長時間使用など、とくに過酷な条件下にて使用された場合の故障および損傷 6. 本保証書の提示がない場合 7. 本保証書の所定の記入がない場合、また字句の書き換えがある場合 注) 本保証は日本国内のみ有効です。(This warranty is valid only in japan) 本書の再発行はいたしません。大事に保管して下さい。 万一、通常のご使用において故障が生じた場合は、この保証書を添えてお買上げの販売店、または弊社サポートセンターまでお申し出ください。 アールアイジャパン株式会社 東京都文京区湯島 3 丁目 21-5 お客様サポートセンター ☎0120-688-843 (土日祝日を除く、AM10:00 ~ PM5:00) | |